

3年生学年だよ

平成 30(2018)年 5 月 10 日

第 7 号

吹田市立第二中学校第三学年

平和学習

「島唄」を通してみる “沖縄”

昨日、THE BOOM のヒット曲「島唄」から学ぶ
平和学習をしました。



青い海 シーサー 独特のグルメ
美しいサンゴ礁 亜熱帯の気候

そんな明るいイメージの“おきなわ”と、

沖縄戦 アメリカ軍
ガマ 基地

から連想される“オキナワ”。

どちらも、真実。どちらも、現実の沖縄です。

修学旅行で、平和の礎・ガマ・平和祈念資料館を実際に訪れたとき、いろいろな思いが胸によぎるのではないのでしょうか。当たり前毎日を過ごせる幸せ、平和の尊さにあらためて思いをはせて欲しいと思います。
みんなの感想の一部を紹介します。

あなたにとって、いま「大切なもの」は…

私の今の“幸せ”は、学校が楽しい事です。クラスが離れても、仲の良い人とずっと友達でいつづけることができるのも、幸せなことなんじゃないかなと思います。

人と話せること。家に帰れること。家族・友人などがいること。勉強できること。

昔のことであっても、戦争のことを忘れない。沖縄に行って、たくさんのことを学ぶことが、いま大切なこと。

今あるこの時間を、大切に作る。

一人一人が戦争はだめなことだと胸に秘めながら1日1日を大事に生きる。

あの時やっとならばよかったなって思わないように過ごしていく。

争いごとをしないで、言葉で解決しあう。

命。

いつも当たり前のようにある、友達や親と一緒にいる時間。

ご飯が食べられること。生きていること。

自分ができることを、精一杯すること。

命を大切にして、一人一人を尊重する。

今ある普通の日常。← 身近なけんかや暴力も起こらないようにする。まずは、自分がそれをしない。

人との接し方。

みんなで力を合わせる事。

普通のことに感謝すること。

次の世代にこのことを伝えること。

「ただいま」「おかえり」などの当たり前のおいさつを大切にしたい。

感想…

歌詞の本当の意味を知って、心が痛くなった。

何も知らずに歌詞を聞くと、自然のことかなと思ったけど、本当の意味は戦争のことだったので、二度と起こしたくないと思った。

今の自分たちの生活に、もしいきなりアメリカ軍がやってきて、戦争をはじめて、自決とかするようになったらどれだけこわいことかと思いました。

当時は、そうするしかなかったと思うと悲しかったです。

自分で自分を殺すのも、自分の大切な人を殺すのも、とても想像できないくらい怖いと思います。“永久の夕風を”。平和が続いてほしいです。

人とのつきあい方を間違えたら、またこの歌の最初みたいになるから、人の気持ちはわからんにしても、自分に置き換えて相手とつきあっていきたい。

いろいろな人との出逢いを大切に、お互いを認め合いたい。

民泊に行ったときに、泊まらせてくれた人にしっかり感謝を伝えたい。実際に沖縄に住んでいる人に話をしっかり聞こうと思いました。

小学生みたいな軽い気持ちで沖縄に行くのは、良くないと思った。⇒学ぶ気持ち。

戦争があったことはどうしようもないけど、戦後どう伝えていくにかかっていると思う。

“実際にその場に行ってどう考えるか”を、今しっかり考えようと思いました。

自分たちができることは、戦争のことを伝えていくことだと思う。同じ失敗を繰り返してはいけないし、戦争を体験された人たちもそれを願っていると思ったからです。

国を守るために沖縄を犠牲にするとか、めっちゃかわいそうやし最低やなって思った。でもその時はそうするしかなかったんかなって思うと、なんかほんまに悲しくなる。g

それぞれの思いを胸に、沖縄へ。